

(新)クールアーススクール事業	41百万円(0百万円)
21世紀環境教育AAAプラン推進事業(204百万円(199百万円))に含まれる。	

総合環境政策局環境教育推進室

1. 事業の概要

平成20年7月に策定された低炭素社会づくり行動計画等において「学校教育における低炭素社会づくり等のための具体的手法を学び実践する取組の充実」が盛り込まれたこと等を踏まえ、学校教育の中で、各教科や総合的学習の時間、委員会活動やクラブ活動等の学校教育のあらゆる過程、場面において、CO2削減を中心とした環境保全のための学び及び実践を全国の学校で普及を促す。そのため、クールアーススクール事業全国事務局を立ち上げ、クールアーススクール(地球温暖化をはじめとする環境問題に配慮した学校)登録システムを導入するとともに、登録システム構築のため、以下の取組を実施する。

クールアーススクール登録システムの検討及び実践ガイドライン・事例集の策定

平成21年度は、欧州や豪州等海外の学校における同種の取組の登録システムについて調査を行ったうえで、我が国で適用可能なクールアーススクールの登録制度の在り方を検討し、登録の手順書を作成する。

また、クールアーススクールを実践するため、学校の教科、総合的学習、課外活動、遠足等の学校活動全体におけるCO2削減に資する学びや実践の具体的手法に係るガイドライン・事例集を策定し、ウェブサイトを通じて施策の普及を図る。

クールアーススクール地域支援実証事業

地域レベルでクールアーススクールの実践を支援するため、3地域(市町、村等)を選定して、学校関係者、地域内NGO、企業、自治体の関係部局等によって構成される「地域環境教育支援協議会(仮称)」を設置し、当該地域内の10学校程度において企業、NGO等地域の環境教育リソース(講師、教材、活動フィールド等)の提供等により、クールアーススクールを支援する仕組み等を実証する。

2．事業計画

平成21年度：全国事務局の立ち上げ、クールアーススクール登録システムの
検討、ガイドライン・事例集の作成、地域支援実証事業の実施

平成22-23年度：実証事業、実証事業を踏まえた登録システム・ガイドライン
の改良、副教材の作成、E-learningシステムの構築・運用

平成24年度以降：クールアーススクール登録制度の推進、全国での普及

3．施策の効果

学校内及び地域を活動の場とした体験学習等によるCO₂削減を中心とした環境保全のための学びを通じて、2050年に向けた低炭素社会づくりを担う人材育成を目指すとともに、学校活動全体におけるCO₂等の環境負荷の削減を推進する。

クールアーススクール事業

地域の核としての学校を中心とした地域ぐるみのCO2削減の取組の推進

クールアーススクール登録(認証)
登録手順書 実施マニュアル整備
事例集 副教材の提供
支援ウェブの作成
普及方策の検討(表彰制度等)

クールアーススクールの登録(認証)校

ホールスクールアプローチによる
低炭素社会づくりに向けた環境教育の実践と地域への発信

教科・総合的学習を通じた
環境教育の実施

Co2削減対策のPDCAサイクルによる
計画的実践・検証

学校生活全般における
エコライフの実践

地域のエコフィールドの活用
外部のゲスト講師
による実践型学習

(仮称)地域環境教育支援協議会

低炭素社会づくり・環境教育を
地域で支える仕組み

- ・NGO、企業、自治体等が持つ環境教育リソース(人、もの等)と学校とのマッチング
 - ・地域・行政が持つ環境教育フィールド情報の共有と提供
 - ・構成メンバーのリソースの補完と学び会による相互研鑽
- 学校支援地域本部等との連携(文部科学省施策)



企業



環境NGO・専門家



自治会等



PTA等



公民館



大学



博物館

自治体環境部局等



自治体教育委員会

実証モデル事業として支援
自治体 地域単位での取組モデル構築
地区内の複数登録校と
それを支える仕組み作りが対象

地域 家庭の低炭素社会づくりの推進に貢献

地域等への取組の普及